

特集

英文決算短信の状況・事例から考える 英文情報開示には こう対応する

外国人持株比率にかかわらず増加傾向に
第I章 2022年5月末時点の
英文決算短信の開示状況

同日、2段階、新規
第II章 3つの企業事例からみる
英文決算短信開示のヒント

「3つの役割」別に準備する
第III章 英文開示の実践に向けた
体制整備のポイント

(株)プロネクサス

児玉 高直

改訂CGコードや金融審議会DWG報告でも言及がなされるなど、英文での情報開示は企業にとってもはや避けては通れない取組みと考えられる。本特集では、3月決算企業の開示が出そろった2022年5月末までのデータから決算短信の英文開示の状況を分析するとともに、属性の異なる3社の企業事例を紹介。そのうえで、英文開示に向けた体制整備のポイントも解説している。自社の取組みの参考にしていただければ幸いです。